

相武台自治会だより

回覧

第61号

令和8年9月19日発行

相武台神社夏まつりが開催されました

7月25日（土）に、相武台神社恒例の夏まつりが開催されました。

午前中には、座間神社宮司を迎え、氏子委員や関連団体の代表者らが参列して、夏季例大祭の式典が本殿にて厳かに執り行われました。また、神輿もお祓いを受けました。

そして、まつりは神輿の渡行と山車の巡行から始まりました。

午後からは、地元商店会や協力団体による模擬店が開かれ、多くの家族連れや子供達がいちごめしていました。

夕方からは、スイカ割り大会やスイカの無料サービスがあり、大いに盛り上がりしました。

ところが、いよいよ演舞が始まるという時に、突然に激しい雷雨が降り始め、止む無く「まつりは中止」となっていました。残念でしたが、これもまた思い出に残る夏の日となったかもしれません。



相武台地区社協主催の「親子ふれあい教室」を開催しました

8月19日（水）に、相武台地区社協では児童と保護者を対象とした、「親子ふれあい教室」を相武台老人憩いの家において開催しました。

当日は児童、保護者、主催者を合わせて約50名と、多くの方が集まりました。

初めは、参加者が思い思いのオモチャを選んで遊んでもらう「うち遊び」です。メンコ、折り紙、けん玉、木コマ、・・・等々で、思い思いに遊んでももらいました。

その後、場所を庭に変えて、昨年6年振りに復活させた「流しそうめん」を今年も行いました。流しそうめんは初めてという人が殆んどで、流れてくるそうめんを上手く捕まえては、美味しそうに食べていました。

最後に、スイカが振る舞われ、帰りにはお弁当やお菓子などをお土産に持って帰ってもらいました。

